

# 新薬期待の化合物を提案

医薬品および健康関連商品のバイオベンチャー、AskAt（本社名古屋市中区、古田晃浩社長、URL [www.askat.co.jp](http://www.askat.co.jp)）は、国内外の大手製薬会社に対して、新薬に結びつく開発化合物を導出（知的財産権の使用許可）する事業を展開している。非臨床試験の段階をクリアした同社所有化合物の開発・販売権を提供することにより、新薬承認後に得られるロイヤルティーを収益基盤としている。2020年12月期には、現在取り組んでいる6分野の開発プログラムから2分野を成功させ、売上高7億5000万円を目指す。

（水谷英志）



古田晃浩社長

同社はラクオリア創薬のスタッフが独立して、13年1月に設立。従業員数は3人。革新的治療薬の開発候補品として、加齢性黄斑変性、アルツハイマー、がん

屋中小企業投資育成を引受先とする、総額5千万円の第三者割当増資を実施して経営基盤を強化した。今年1月には初の取り組みとして、中国のRMX社との間で、疼痛（とうつう）領域における新薬の開発を目指したライセンス契約を締結した。

## 中国企業とライセンス契約も

免疫、リウマチ、副作用が少ないイリリー社（日本法人・神戸市）の子会社で動物薬部門を手がけるエランコ社と戦略的提携を行い販売拡大を目指しており、より多くのロイヤルティーが見込めるとしている。

古田社長は「EP4拮抗薬は副作用が少なく、多くのがんで応用が期待されている。既存の化学療法や放射線療法とも併用できると見込まれる。今後も新たな価値を発見していく」と話している。

## バイオベンチャーのAskAt

革新を起こすバイオベンチャー  
AskAtの「5つの強み」

- 1 100以上の専任開発者・博士・マニピュレーター  
サイエンス・ビジネス、グローバル企業・ベンチャー企業
- 2 独自の強力なIP（特許化合物）を保有  
治療領域：がん免疫、認知症、痛み、リウマチ、加齢性黄斑変性
- 3 複数のキックスタート・調達品、黒字化  
5年以内の黒字化、契約済で2025年迄の収入計画が>25億円
- 4 最速・先端科学へのアクセス  
世界レベルでのコラボレーション・ネットワーク
- 5 ビジネス・イノベーション戦略、豊富な経験  
ビジネスモデル、グローバル市場、信頼・貢献の企業文化

AskAtの会社説明資料

このほろ名古